

囲碁入門講座通信 令和2年 第14号



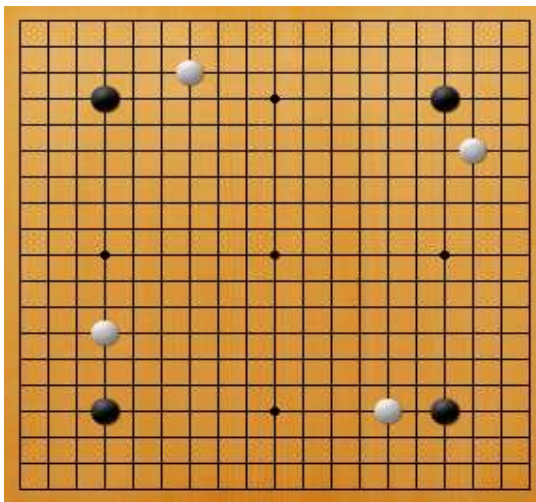
報告:有楽齋

毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいたのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中です**。(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号も、入門者用に囲碁用語を少々ご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)

囲碁用語 カカリとハサミの種類について

隅に打たれた相手の石に対して、その発展を阻止するために打つ手を「**カカリ**」と言います。カカリには次の4種類があります。また、星への小ゲイマガカリに対して、ハサむ打ち方(**ハサミ**)の名称を示します。なお、カカリに対してはカカられた反対側に受ける(開く)打ち方も多く、カカった石に直接ツケる打ち方もあります。



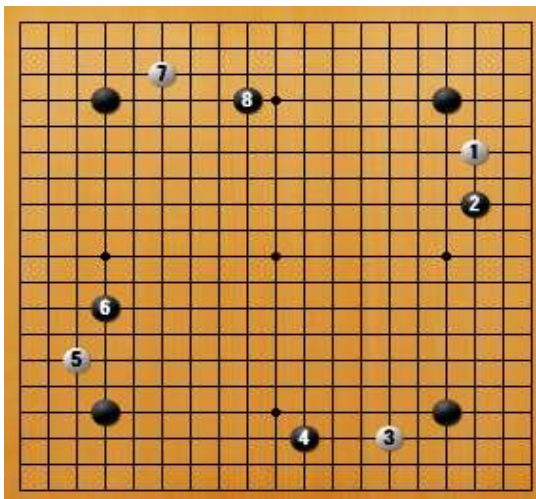
(上図) **カカリの種類**

小ゲイマガカリ(右上隅・白) 黒石に対して、図のように将棋の桂馬に飛ぶ位置にカカるのが「小ゲイマガカリ」で、星へのカカリは大半が小ゲイマです。

一間高ガカリ(右下隅・白) 黒石に対して1路空けてカカるのを「一間高ガカリ」、または単に「一間ガカリ」と呼びます。小ゲイマガカリと比べると、隅への響きが弱く、中央への進出が早いという性質があります。

大ゲイマガカリ(左上隅・白) 桂馬よりもさらに一つ遠ざかってかかるのが、大ゲイマガカリです。黒にとって隅への脅威は少なく、辺を意識した「場合の手」といえるでしょう。

二間高ガカリ(左下隅・白) 黒石に対して二間の位置に高くかかるのを「二間高ガカリ」といいます。隅への圧力はもっとも少なく、辺や中央などへの発展を重視した打ち方です。



(下図) **ハサミの種類**

一間バサミ(右上・黒2) よく打たれるハサミで、厳しい打ち方です。

二間バサミ(右下・黒4)

一間高バサミ(左下・黒6) これも厳しい打ち方です。

二間高バサミ(左上・黒8) 比較的によく打たれるハサミです。

三間バサミと三間高バサミ 図には示していませんが、三間バサミは二間バサミの一つ先(星下)の地点、また三間高バサミは二間高バサミの一つ先(星)の地点にハサむ打ち方です。反対側の隅に味方の黒石がある場合にはバランスがよく、一間バサミと共によく打たれるハサミです。